

全史料協第 44 回全国（沖縄）大会参加者アンケート

平成 31 年 2 月

全史料協大会・研修委員会事務局

1 大会テーマ（「アーカイブズ再考—その価値と活用—」）について

勉強になりました。／沖縄県立公文書館の見学がよかった。指定管理者の運営ではあるが、それ以前の基本ポリシーがしっかり根付いていて研修も行われている様子であった。／テーマ、各報告の位置付け、実際の報告内容の三者が必ずしもうまくつながっていないように感じた。／大会テーマに沿っていないセミナーが多かった。／「価値と活用」について、人口減少・高齢化の中で自治体政策につなげていきたい。／アーカイブ資料をどのように利用していくかということについて、沖縄をはじめ様々な地域の事例を知れて参考になった。ただ、収集・保存・継承してだけでなく、自館のアーカイブズがどのような活用ができるか、どういった利用の道を開いていくか、改めて向き合う必要を強く感じた。／様々な取組をお聞きできたことは大変参考になりました。／文書を整理・保管する更にもその活用までを文書にたずさわる側が積極的に考えていこうというテーマは、これからのアーカイブにとって非常に重要だという提起で大変に良かったと思います。／テーマ自体の趣旨がよくわからなかった。現代の(今の)アーカイブズとは何か、再考できる人はとても理解のある方で長年この世界にいる人の考え方です。／初めて参加しました。テーマのアーカイブズ再考のうち、価値と活用については研修や報告でよく理解できました。しかし再考に関して課題がある故再考が必要となるとと思いますが、その課題に関してどのような課題があるのかも聞けたらよかったなと思います。／スタッフの皆様お疲れさまでした。／デジタルアーカイブズ化などの活用の際に人の問題と落とさない、拙速に走らない、ことが重要だと思いました。フロアからの質問を取らなかったのはなぜですか？／地域によってアーカイブの価値と活用法は様々で、特に沖縄県の事例について知ることができ良かったです。／アーカイブズの業務内容を見直すきっかけとなりそうです。／時宜にあっている／外に出ていく価値と活用からアーカイブズを考えると共に、どのような資料をアーカイブズとして収集し保存していくことも必要な面だと思うので、今後は両面から考える機会があるといい。／価値の必要性を問っていたのは共通ですが“活用”の面となると権利関係等で難しいことがあるのだと思いました。価値と活用の困

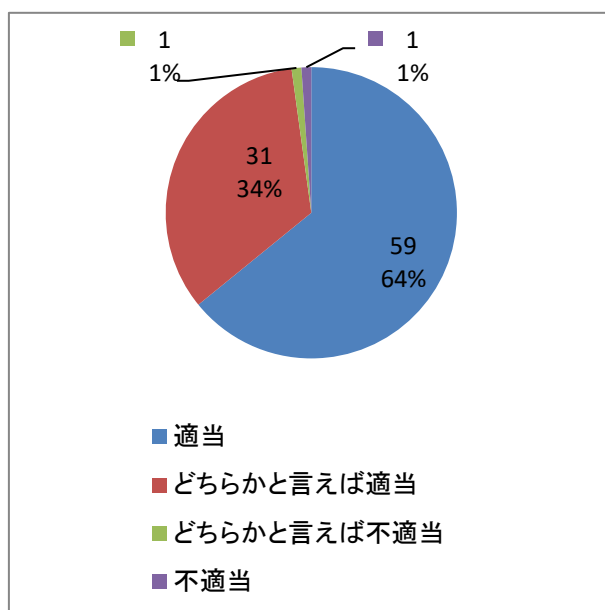


図 1 N=59

難性がじっくり来たかもしれません。／大会テーマ研究会に参加し、素晴らしい意味をもっているということを感じられ、よかった。／歴史的節目にふさわしいテーマでした。／今、これだけ中央省庁等で公文書管理のズサンさが注目されている時に 全史料協がなぜ正面から公文書管理機能の充実を取り上げないのか、理解に苦しむ。追い風を意図的に作って、全国展開すべきなのに地域資料など後ろ向きなテーマを選んだ着眼点は大いにズレていると感じている。／大会関係者のみな様、ありがとうございました。おつかれ様でした。／大変勉強になりました。多様なお立場のパネラー間で有意義な対論と思いました。ありがとうございます。／最初の印象は難解な感じがしましたが、研修・討議を返して意味が深められ、広く共有されたと思います。／アーカイブズの様々な価値をいろいろな施設・活動からの視点で考え直す機会になりました。／アーカイブズの価値の源泉を人々の権利に置いたのはよい。／沖縄大会に相応しいテーマが良かった。大会趣旨の内容と報告（特にデジタルアーカイブ）が合致していなかったように思う。／アーカイブズへの（よくも悪くも）関心の高い時であることと、沖縄での開催にあったテーマだと思いました。／とても有意義だと思います。／報道等、社会の中でも関心が高まってきているこの時節にアーカイブズの中身や意義について見直すことは大変意義深いと感じている。／大会宣言、全体としては素晴らしいと思いますが、3，はなぜ「国民」でなければならないのかがわかりません。一貫して「人々」とした方がよかったと思います。

研修会 A（視察）

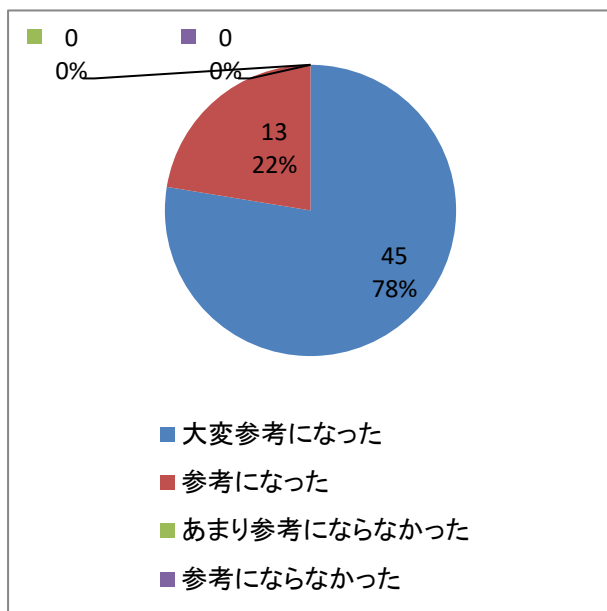


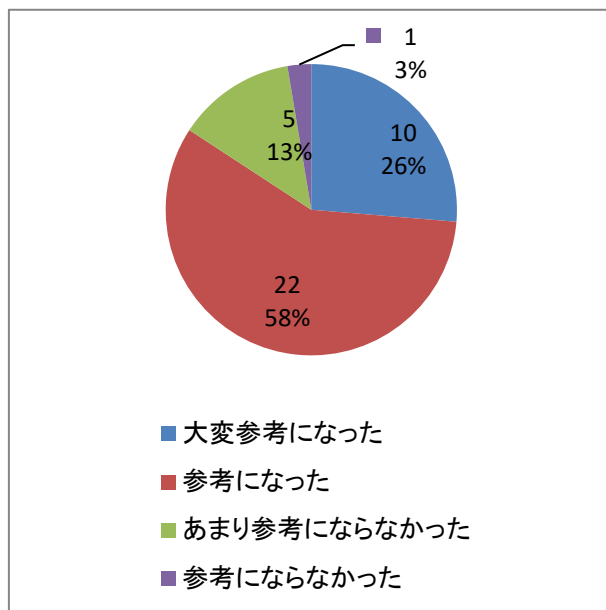
図 2 N=58 参加 58,不参加 38

展示をゆっくり見る時間がなくて残念であった。／もう少しゆっくりと見学したい、急ぎすぎてしまい気になる所が見れなかった。／県立公文書館の申請後に審査する方法は自館と同じ状況で、苦勞が共感できた。箱の管理やマスキングの簡易なやり方など効率的な方法について参考しながら模索していきたい。／もう少し時間的よゆうがほしいです。／選別・評価・補修・保存・デジタル化、閲覧提供まで細かな配慮をされているのがよくわかった。／地域の違いによる施設と展示など参考になった。バスの中でまわりの様子の説明がもっと欲しかった、

めったに来れない場所ですから！／もう少し時間があればよかった。／公文書館のバックヤードツアーの時間をもっととっていただけるとありがたかったと思います。／もう少し

ゆっくり見学したかった。／公文書館の先進的で充実した施設を見学でき、とても参考になりました。南風原文化センターは DVD のインパクトが強く、展示物も個性豊かでした。／定員の関係で見学ができず残念でした。／公文書館：閲覧室・マイクロフィルム保管庫などゆっくり見学出来なくて残念でした。／沖縄県公文書館は日本一／大変参考になりました。／両施設とも充実した内容で、大変興味深い展示、収蔵庫でした。／南風原文化センターと沖縄県公文書館の2施設を訪問したが時間に追われ十分な視察時間とは言えなかったもので、一施設で良いかと思う。／丁寧にご案内いただき、感激しました。2ヶ所とも、あと30分余計に時間があれば・・・と思いましたが、スケジュール上はやむを得ません。ありがとうございました。／定員がいっぱいで参加できなかった。／大変すばらしく、刺激的だった。大変お世話になりました、ありがとうございました。／遠方なので前泊しないと参加できない、せっかくの現地視察なのだが。／どちらも興味深い施設で、もう少し時間をかけて見たかった。1ヶ所でもよかったのでは？／もっとゆっくり見学したいので、また沖縄に来たいと思います。／他の内容は沖縄に限って行なう必要がないと思うが、沖縄のアーカイブズ施設の視察はその点で極めて有意義であった。／内部まで見ることができて、大変参考になりました。説明もわかり易かったです。ありがとうございました。／もっと時間をとってもらえたら、なお良かったです。／沖縄県公文書館の多角的で機能的な運営を施設を通して、感じることができ大変参考になった。南風原文化センターでは民俗資料から戦争と文化を考えさせられる施設を見学できた。両者とも短い時間の中で大変有意義でした。／実際に施設、現場を見せていただくことは大切なので、受入のご苦勞もあると思いますが、続けて頂きたいです。／南風原文化センターを訪問したいと思っていたのでよかったです。／沖縄県公文書館が潤沢な人員や予算を持ち、多くの仕事をしていることに驚いた。／こちらの研修 C,E 内容を報告にした方が良かったように思う。／沖縄戦の重みを感じる資料を丁寧にお話ししていただきました。／全体との時間的な制約があるかと思うが、もう少し時間をかけて見学を行えるとよいのではないかと感じた。

研修会 B 金原祐樹氏(徳島県立文書館)
 タイトルから「アーカイブズとはなにか」的な話を期待していたが、全く違った。徳島の事例（経緯や活動等）もごくふつうで、得られた知見は皆無だった。／事例報告が多かったような気がします。入門的な話をもっとあってもよかった。／文書・文化面の行政予算が削減される今、他県でも PR や業務に積極的に取り組んでいることが分かり参考になりました。／他の公文書館（文書館）の実態現状課題



等が参考になった。／利活用の視点というより、館の紹介にとどまったように感じました。／少し前段が長く、本質もの公文書の受入や選別方法などの話をもう少し聞きたかった。／スライド資料が少なく、徳島県立文書館の取り組みが分かり辛かった。／ためになったが前振りが長かった。／他県の状況を知ることができて、とてもよかった。／前おきが長すぎる。本題がきちんと聞けなかった。入門とは？このテーマにこだわる必要があるか？／行政機関として県組織や県民へのアピールに努力していることがよく伝わった。「悩みが絶えることがない」に共感した。

図 3 N=38

研修会 C 鳥山淳氏(沖縄国際大学)
 当プロジェクトは長い期間、多くの人がかかわって進められたので、その時間軸を表でまとめてほしかった。／「記録の人」の資料調査を事例に文書の選別、よりよい目録とはどういうものかについて再考するきっかけになった。／具体的な背景が自分でわからないせいか、理解まで至らなかった。／阿波根昌潟資料調査会の活動を全国の皆様に知ってもらえてよかったです。／伊江島の調査会について、概要が分かり勉強になりました。活動を継続していくことの大変さも伝わってきました。／初めて聴く者にとってわ

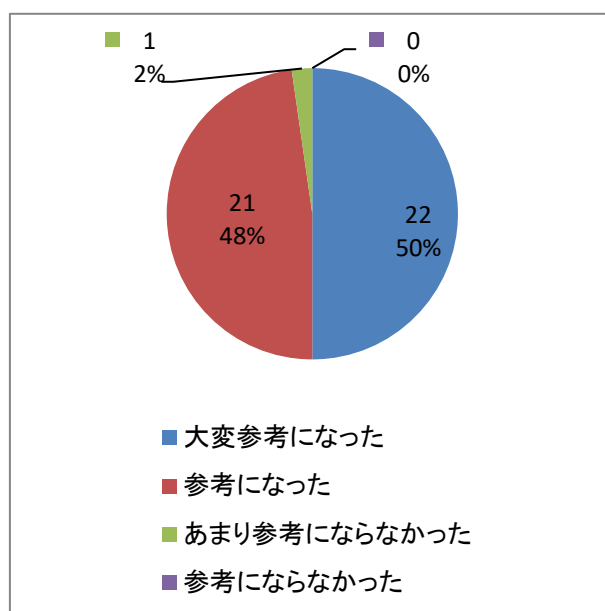


図 4 N=44

かりにくい部分もあったが、沖縄戦が戦後も引き続き、住民に様々な影響を与えたと再確認できた。／鉾脈を当てるような作業だと思うが、ユネスコ記憶遺産登録を目指すなど、戦略性をもって続けて行くべきだと思う。／阿波根昌鴻資料調査が継続中と知りませんでしたので、勉強になりました。／具体的な内容に参考／阿波根氏について無知だったため、氏の紹介をしていただけたら（されていたのかもしれないが、聞きのがしました）もっと意義を深く理解できたと思う。これをきっかけに勉強してみたくなった。／鳥山氏／記録の営みについて深く考えることができた、よい研修でした。／阿波根昌鴻資料調査会について、任意団体による資料調査の全体的な流れを知ることができてよかった。／アーカイブズの成り立ちについて考えることができた。

研修会 D 小川千代子氏（国際資料研究所）

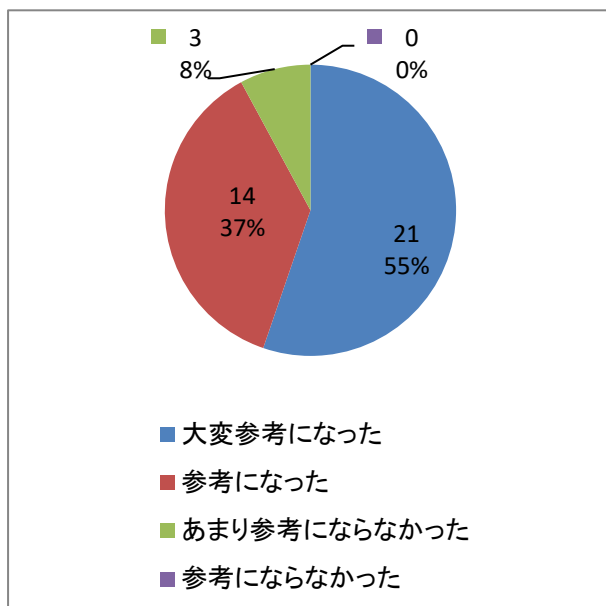


図 5 N=38

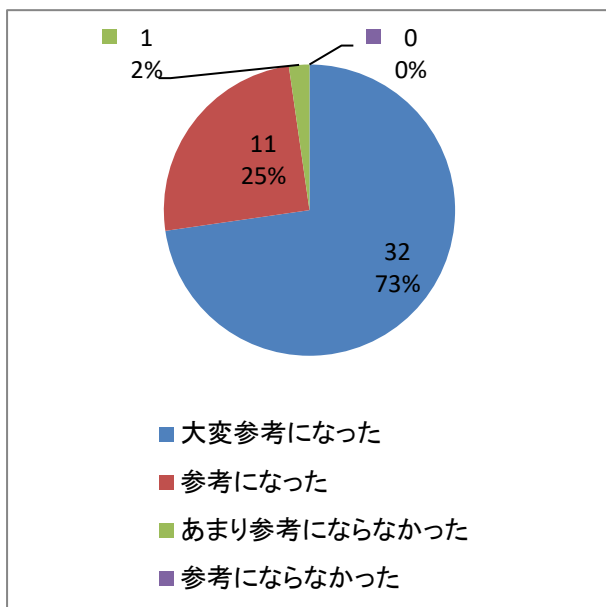
アーキビストと胸をはって言えるほどの業務内容ではないのですが、根本的なことを改めて学べたと思います。一人の人間としてどう生きるべきか、ということにも通じることを学べました。／ICAの存在を初めてしった。しっかり学んで仕事で生かそうと思った。／理念的なところも多かったので、具体的にこういときは「アーキビストとしては」どのような対応がよいか、人権がらみの文書類の扱いを具体的にどうするかなども聞きたかった。／まだ自分のなかで消化でき

ていません。／実務レベルの研修を希望する。／アーキビストの立ち位置を再確認

できた。／アーキビストとしての原則、文書担当としての役割／国家の犯罪をアーカイブとして残すのは難しいと思う。／難しい用語を分かりやすく説明していただき、普段は中々聞けない話が聞けて良かったです。アーキビストの姿勢やアーキビスト像が印象的でした。／重要な原則を紹介してもらえたので、次はどのように実務に生かすかを考えないといけない。／世界人権宣言など、ほとんど読んだことのないものであり、勉強不足を痛感した。とても短く感じ、もっとお話を聞きたかったが、大変分かりやすかった。仕事をするうえで、「人道」「自分の良心に忠実であるか」という基本的な部分を確認できた。／心にささる内容でした。／実践は難しいが、あるべき姿・理想を常に追求していくことは、大事だと思う。／アーキビストの覚悟を教えられたと思います。所属する組織と自分の志のバランスを考えさせられました。／知識を広げることができた、よい研修でした。

／人権保護のためのアーキビストの役割を根底から教えていただいた。

研修会 E 久部良 和子氏（沖縄県立博物館・美術館）



証言記録の公開方法について学ぶ点は多かった。／調査を行った職員の情熱と聞き取り調査実施・記録の難しさが分かり、大変参考になりました。／本を読んでいる様な語り方でマイクの調子とあいまって気持ちのたかぶりの伝わり方が残念であった。／沖縄戦に関する資料をいかに効果的に活用していくというのは、県内自治体どこでも感じている命題だと思うのでとても示さ的な内容だった。／オーラルヒストリーへの取り組み方が参考になった。／久部良氏の発表を聞いて沖縄にきたかいがあった。／沖縄は日本で唯一の地上戦体験県として、様々なメディアが“戦争”をテーマに報

図 6 N=44

道しているが、お話しの中でもあったように住民からの聞き取りには個人情報など、様々な問題が及ぶため難しいという印象があった。とても貴重な研修会でした。／沖縄の特徴的な事例を丁寧に取組まれており、参考になった。／本土の人間にとっての沖縄戦と、実体験あるいは幼い頃より親や祖父母からその体験を伝え聞いた地元の人々にとってのそれとが違くと理解できる。／沖縄の考え方がよく伝えられたと思う。／米軍の攻撃のカラー映像を見ていたら、午前中の視察の民俗資料や展示などもリンクし、沖縄の方にとって戦争の記録が持つ重みをしみじみ感じ考えさせられた。沖縄の問題を他人事のように感じていた自分にも気付かされた。アーカイブズは、体験をしていないものへ、本当にあったことを伝えることができる唯一の手段だと思った。／久部良氏／証言記録についての難しさ、重要性について考えることができた。／証言者の方の存在を感じることができた証言記録を人びとの手に取り戻すお仕事をされた、講師の久部良さんを尊敬します。／今後さらに注目されるであろう、オーラルヒストリーや録音テープの活用について、その実践内容と課題が聞けたことは、非常にありがたかった。／オーラルヒストリーへの関心を喚起したことがよかった。

大会セレモニーについて

大会セレモニーは2日目朝にしてはどうか、研修と大会を明確化しては？／研修会終了後、帰られる参加者が多くいたように思います。午後の最初に位置づけた方がよいのではない

か。／NAの福井理事と大西愛さんのごあいさつがよかった。／平成7年以来の表彰ということだが、災害への対応や文書管理がニュースで高い関心を集めるようになっていて貢献されている方をもっと頻度をあげて表彰していいのでは？と感じた。／郷土色あふれる内容でよかった。／よく考えて構成されていたと感じた。／副知事から沖縄をあちこちみて行ってほしいとの話がありましたが、今の役所の出張制度では無理ですね、それとも沖縄県は許されているのかな？／参加者（セレモニー）が全体参加者の半分くらいが退席した後だった。せっかくなので、（表彰だったので）交流大会とか参加者が多い時間で実施した方がよかったのでは。／その場で受賞者お一人づつコメントしていただければ良かったと思う。／とても良い雰囲気で行われていたと感じました。表彰者の方の簡単な説明（功績など）があるとさらに良いと思いました。／表彰式はもう少し説明が欲しかった。／表彰された方々のオーラルヒストリーをとって欲しいです。／会長あいさつ、良かった。表彰も毎回しましょう。／表彰理由について具体的に披露していただけたとなお良かったと思います。／・セレモニーにおける三氏のあいさつは全てよかった。・表彰式はよかった、会長の昨年度からの英断に敬服しています。次回は定兼氏の表彰は確定。／すばらしい雰囲気、組織の大きさを感じられた。／会員表彰が大変良かった。／会員表彰などセレモニーに集約されていて、まとまっていたように思う。／あたたか味のある、よいセレモニーでした。／表彰者は納得できる方々ですが、表彰理由も伺いたかったです。

（参加 80 名、不参加 17 名）

調査・研究委員会報告

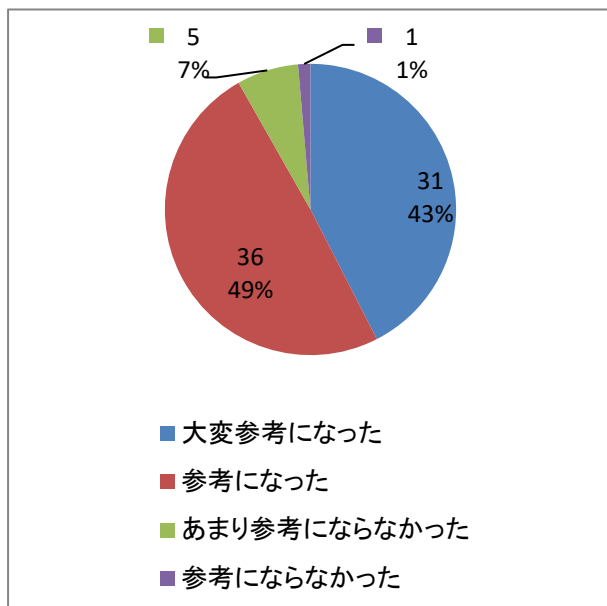


図 7 N=73

高村さんの報告でグラフの説明は、後日の報告書を期待したい。（文章化）／災害という非常時で文書の扱いについても国の指針をふまえて臨機応変な対応が各自治体で求められるので、難しい問題も多いと思うが、アンケートで注意喚起につながればと思う、西日本災害では状況に応じながら早い段階から調査にのりだしていいのでは？／高村さんがすごいです／被災文書の復旧・保存について具体的に知ることができ、地元にあてはめて考えるきっかけとして大いに役立ちました。アンケート集計の報告は今後、災害時に備えて予め、どのようなルールを定めておくべきかを示唆してくれました。／具体的な取組内容を説明していただ

きわかりやすかったです。／これから起こる可能性のある災害に備えて、ノウハウを共有する仕組みがほしい。／災害の実態の紹介があり、日頃の連携、対応の必要を痛感しました。ただ、災害があった時、部外者をボランティアなりとして入れることの行政的判断が首長なりが得られるだろうかと心配はあります。／特に前半のアンケートの結果について、今後自分たちの自治体が被災した時、どのように文書を残すか、どのように意識をもてはよいかの参考になりました。廃棄期限がくる前に決めなければなりませんね。／被災地の文書保存について勉強になりました。もし被災した時にどうすればいいか、ほとんどの自治体は知識もなく、どこに助けを求めればいいかも知られていないと思うので、もっと周知されるといいと思いました。／あまり参考にならなかったが調査に無駄なし。／日頃から様々な活動をされているので頭が下がります。／アンケート結果から何を得られたのか。何のための集計だったのか、というところが、みえず残念だった。／全史料協の活動のうち、より具体的な部分を知ることができて、とても勉強になった。／この委員会の報告は必要ない。／災害があるたびに同じようにレスキューに入る、これは意義のあることだが、報告は何を発信しようと思っているのか、よくわからない。／アンケートの意義については教えられました。／アンケートの結果を詳細に報告していただき興味深かった。また、西予市のレスキューについては、早い対応が可能だった要因について、市側がどのような意識を事前に持たれていたのかが気になった。／被災自治体のアンケートについて、報告書作成の段階では平常時の文書管理との比較をやらせると参考になります。／調査・研究委員会の災害発生時の取り組みが大変参考になった。災害が発生したときの対応方法、どこにレスキューを依頼するか等を具体的に詰めていくことが大事だと思う。普段から災害対応の計画を立てておくことが重要である。／途中報告なので、今後に期待します。／参考にはなったが、現在の記録に関する課題について（国の公文書はデジタルを原本にする予定）言及なかったのは問題。デジタルの問題は実際に急を要する課題だと思う、大げさに言えば危機感がうすい。

大会テーマ研究会

林さんのプレゼンは迫力があつた。後藤さんのプレゼンもスライド満載ではあるがわかりやすかつた。／デジタルはよかつた。／（デジタルアーカイブ）後藤さんと加藤さんのやりとりが参考になつたが、ここが今回のテーマと考えると議論の中心になつて良いのか疑問に感じた。フロアの意見を聞いても良かったのでは？／研究者の研究状況は不要とはいわないが、分量時間長過ぎの印象、D化を

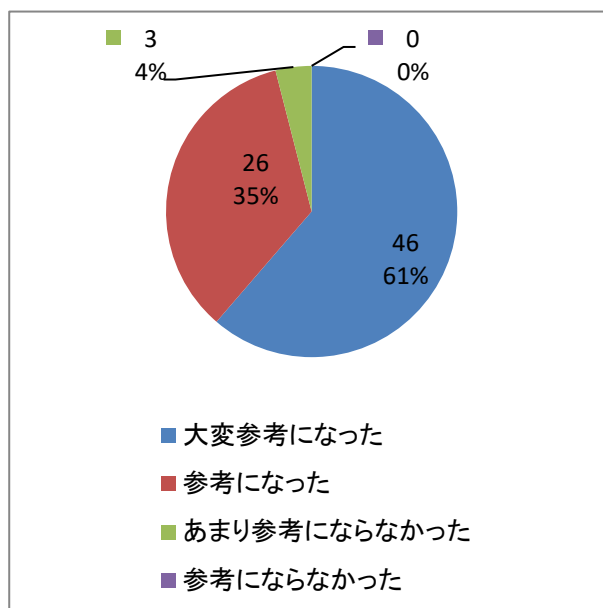
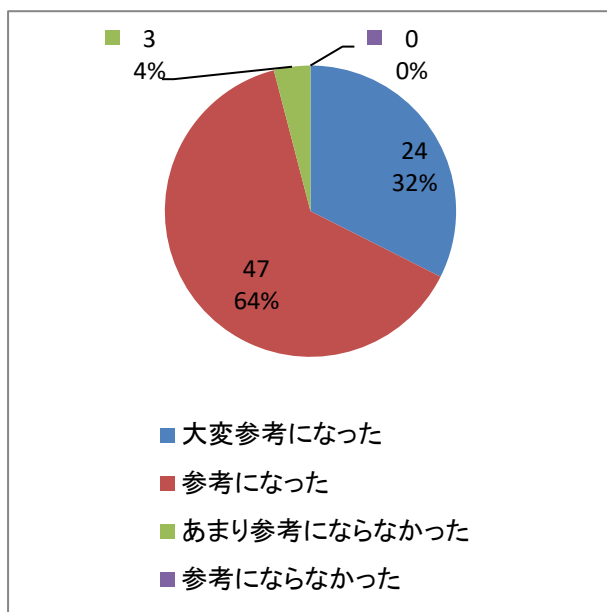


図 8 N=75

保存とする考えはとても参考になった、公害資料保存を使命とする担当者のことばは心に響く。全史料協の国際交流が強化されると参考情報が増えるかな。／・沖縄戦・占領下という特殊な歴史下の資料を保存することは、歴史を記録する事に留まらず人権や所有権など住居の権利に実質的に結びつく重要な価値をもつことが分かりました。・公害資料では、負の事柄に関する資料を扱う問題について学びがあり、参考になりました。・デジタル化の進んだ情報は大変難しいです、利用してみたいです。／公害問題の内容説明は、大会テーマからみてわかりませんでした。登壇者の一部の人は赤い名札はしないのですか？批判ばかりで聞きずらかった。／人権とアーカイブスが深く結びついていることを強く認識させられました。／特に沖縄県公文書館の話はたいへん参考になった／加藤先生の意見には賛同できた。アーカイブズへの認識が深まった。／史料を提供する側は、林報告で述べられた「存在を消されたくない人々思い」にいかに応えうるか、を常に念頭に置く必要があると思います。／フロアからの発言の時間が欲しかった。／とても興味深い内容でもっと聞きたかったです。／何をどこまで公開情報とするかは、政治の力では決められないものだと思います。民意によるものだから時代によって変わるのでしょうか。／質問をなぜ受付なかったのか？／各報告自体はとても良かったが、全体としてのまとまりがよくわからなかった。／報告1～3はアーカイブズの必要性を前提に、未来への活用を意識していたのが印象的でした。残すだけ（重要ですが）だとかかなりの労力を必要としますが、利活用も含めるとアーカイブズの意義が理解しやすいので、その面を参考にしたいと思いました。林さんの紹介されていた本も読みます。海外のアーカイブズ事情の話が出ていたが、海外ヨーロッパ、アジア、アメリカ、アフリカなど日本の比較が知りたい。可能であれば海外のアーカイブズ事情に詳しい方の話も聞きたい。／加藤聖文氏の鋭い指摘で、集合討論が有意義なものとなった。デジタルのコストの問題は無視できない大きな問題だ。／林研究員の発表は、体験がバックボーンにありとても迫力があり参考になった。後藤准教授の発表は、課題のデジタルアーカイブの最新の状況がきけて参考になった。／会場にもコメント・質問を求めるべき。／加藤先生の指摘がするどくどのような回答がくるのか大変興味深かったが、だんだんと何をマスクングしてしないみたいな話で終わってしまっていた残念だった。／今大会のテーマの意味など大変よく理解できた。アーカイブズに関する様々なことが進歩しているという現状と、見えてきた課題を知ることができて、とてもよかった。／マスクングの方針をめぐって悩んでいたが、そもそもなぜデジタル公開するのか、理念が明確にならなければならないと悟れた。大変参考になった。／・公害資料館ネットワークの存在を初めて知りました。・Khirin・・・デジタル化の進展におどろきです。／報告③は大変考え深いものであった。デジタルについて、継続について、その他多彩な意見が活発な大会になったと思う／それぞれの立場からのアーカイブズの価値がよくわかる内容だった。／林さんのリプライに心をうたれました。／様々な立場、施設規模・方針があり、それぞれの課題があることを実感した。個々のアーカイブズの立場、施設規模・方針で効果的に公開する方法を模索する必要があると感じた。／総合討論がデジタルアーカイブズの

話に偏ってしまった感がある。／いろいろまだ多くの問題があることがわかりました。／話がデジタルによりましたが「社会とアーカイブズのつながり」のお話をもう少し伺いたかったです。／具体的で実践的で大変参考になりました。

出版物展示・協賛企業展示・ポスターセッション



デジタル化を推進するヒントをもらった。／人の手の及ばない所や物にデジタルからアプローチ出来てより詳しく、対照的に迫ることが出来ることを知ることが出来た。／企業との出会いの場として貴重なものであった。大会で具体的にご紹介していただいてもよいのではないのでしょうか。／各企業の最新の技術を聞いて良かった。／デジタルアーカイブは参考になった。沖縄県公文書館のオーバーヘッド式スキャナの実演も見たかった。／デジタル化に関する紹介が多く、初めて知る技術ばかりで大変勉強になりました。／ブルーレイディスクによるデータ保存、検討したい。／アーカイブズ機関の参加

図 9 N=74 入場 85、不入場 6

(出展)をもう少し募って欲しい。／様々な企業の報告が見聞きできてよかった。時間も90分(昼)と長く取られていたのでゆっくりと見学できた。ホールの近くであったため講演におくれる事もなかったのも、場所も良かった。／忙しくてじっくり見学する時間がなかった。すみません。／大仙市アーカイブズのポスター、パンフレットが良かった。なかなか行く機会がないので、こういう機会に活動等が知れて大変ありがたい。／これからのアーカイブズの在り方、デジタル化の具体など見て、感じる事ができた。とても有意義だった。／時間がなくてじっくり見れなかった。／一枚のポスターにもいろいろな思いが込められているので、丁寧に見てきました。／会場が受付や会場と近い場にあったので、気軽に立ち寄ることができ、話を聞くことができた。

運営について

現代資料に光があたった今回の大会の意義は高いと思う、参考になることが多かった。／沖地協〔沖縄県地域史協議会〕と開催日をかぶせないでほしい。駐車場のない所で開催するのは県内北部からの参加がむずかしい。／分刻みのスケジュール管理おつかれさまでした。／遠い沖縄での大会運営は大変であったと思いますが、皆さん協力されて対応されていました。／全体としてはよかったが、1日目、2日目ともホールの音声に問題があった

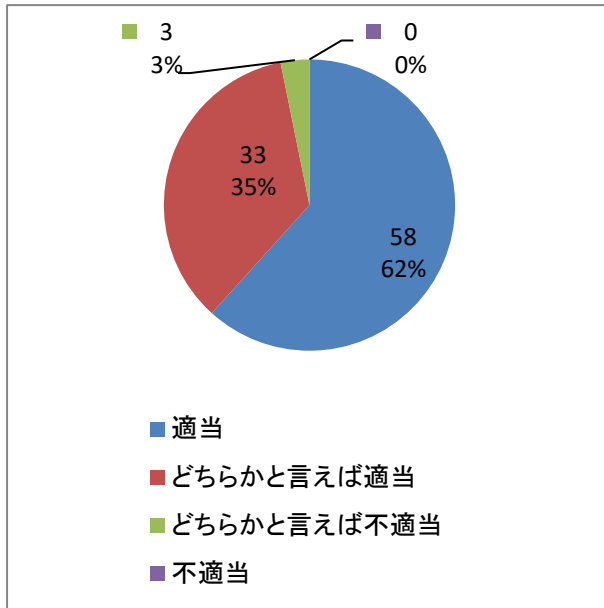


図 11 日程の組み方 (N=94)

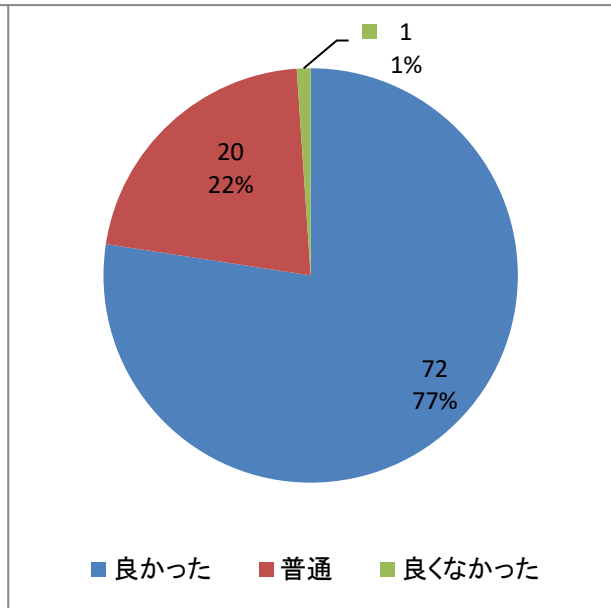


図 10 運営全体について (N=93)

のが残念であった。／初日午後の会場がわかりにくかった。／細やかな対応や案内をしていただき、大変有難かったです。／マイクトラブルが多く、貴重な報告が聞き取りにくい場面が多々あった、準備をしっかりとしてほしい。／交流会を参加しやすい金額にしてほしい（すぐに料理が・・・）／大会宣言は毎回やりましょう。／各研修会もテーマと密接に関わっているわりにそのつながりがわかりづらいので、その位置付けをアナウンスすると良いのではと思いました。／1日目は視察と研修会で詰め過ぎた印象があるのですが、ポスターセッションの数と場所等は2日間合わせて丁度良かったです。2日目の報告は災害、公害等から見たアーカイブズの重要性もあり、アーカイブズとは何の、誰のためにあるのかということを再考する契機となりました。／総会は別日程なので、大会日程に余裕があり良かった。ドレスコード（スーツか半そでシャツか）に迷った。運営に当たっている人が多くスムーズに親切に対応してもらえて良かった。／とにかく会場等の施設が美しく、感動した。／大会自体は毎年、この時期なので（一般的に行事の多い時期でのある）定着しているといえるが、総会と別になったことで、日程・予算上、参加しにくくなっている。見直して欲しい。／表彰式や沖縄宣言など画期的な大会になったと思います。／全史料協・沖縄県らしい良い大会でした。大会研修委員会・沖縄県のみなさん、本当にありがとうございました。／スムーズな運営だったように思います。／案内や時間・進行などスムーズだった。／沖縄関係者のご尽力に感謝します。／2日間のスケジュール・テーマの設定・研修会の報告等、とても充実しており、大変有用な情報を得ることができました。ありがとうございました。／参観の定員が少なすぎないだろうか。

研修会で扱って欲しいテーマ（自由記述欄）

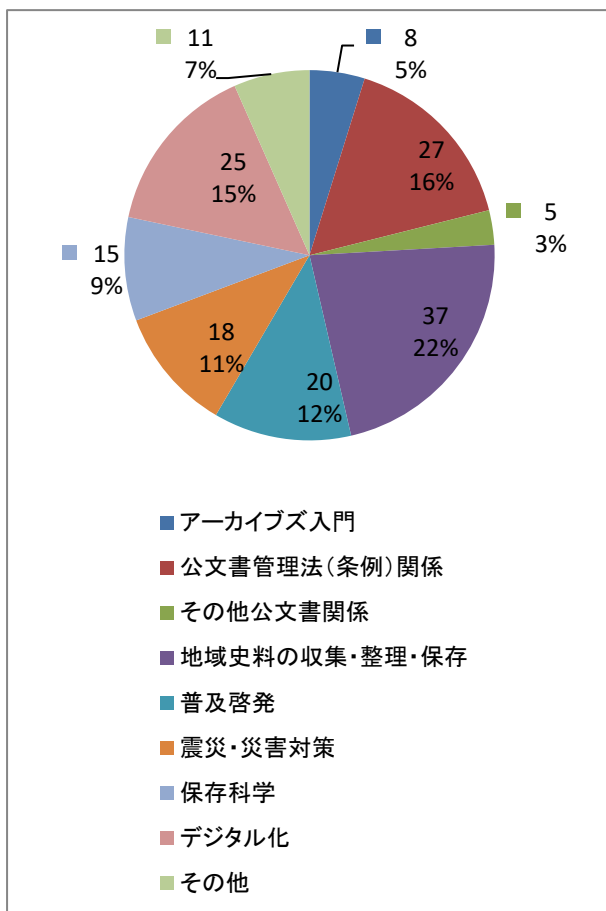


図 12 N=166（複数回答可）

情報公開、個人情報保護、歴史公文書の三者の関係／ご要望：利用審査（公開判定）について／プレゼンテーションの方法や PPT の作り方など取り上げてほしい。企業出展と組み合わせてもよいかもしれない。／ここの会員の多数が役所が決めるものと思われる方が多いのでは。発表でも公文書、個人の文書？との話がありましたが、条例があればわかるのですが！／一般の人が 1 人で資料にたどり着くことが難しいので、それを解決するためにはどうすればいいか、また資料があるということをどのように発信すればいいか。／資料の公開と個人情報保護／公文書の選別／展示／他国の事例も 1 本は欲しい。／電子公文書の扱い／首長部局の公文書館で地域史料の活用事例／社会の中のアーカイブズの意義を伝え、広めるような普及のあり方／デジタル化

は予算面もあり出来ていない施設もあったので、小規模施設のデジタル化について

でも聞いてみたい。／.／Outreach／アーキビスト職務基準書について。／複数の館でのデジタル化の事例と改善点や、困っていること等について／人権問題にかかわる記述のある資料（古文書）の公開について、など内規があるのかとか／・図書館ごとの住み分けがどうなっているか・予算を取る為にどのような計画を持たれているか／資料の公開（プライバシー・著作権・その他の問題）に関する知識の共有の機会があればと思います。／沖縄県・大城氏の報告のような、どのような資料がどのように使われるかという事例紹介⇄権利等に関する証拠としての価値以外の価値もあると考えられる。／平成 30 年は豪雨・地震・台風など自然災害が多発した。災害対策をもっと考えることが必要。／普及活動に関する具体的事例／・AI によるアーキビストの仕事の代替が可能か・アナログ的な方法で、デジタルデータを検索する方法を紹介して欲しい（検索機能をつかわずに資料に到達する方法）

大会テーマ研究会で扱って欲しいテーマ

アーカイブの整理、人材育成、利活用／国および市町村の公文書管理状況について、防衛

省の「日報廃棄」問題など／古文書研究／評価選別について／震災・災害対策。デジタル化。／同上〔＝利用審査（公開判定）について〕／今回もテーマになっていましたが、予算が減少する中で公文書館をどう機能させるか資料をどう活用するか、それをどう市民にアピールしていくか、そうした内容が知りたいです。／4と同じです〔＝この会員の多数が役所が決めるものと思われる方が多いのでは、発表でも公文書、個人の文書？との話がありました、条例があればわかるのですが！〕／公文書館機能と自治体史主管課のかかわりについて／「マイノリティとアーカイブズ」的なものを個人情報問題とからめて扱ってほしい。／アーカイブズ機関の設立支援に向けたテーマが何か設けられればと思う。／・指定管理者制度の中間評価（メリット、デメリットを検討する）・アーキビスト（専門職）視覚制度化に伴い、自治体アーカイブズの受入制度をどう確立するか。／RiC／歴史的な資料だけでなく、現代的な資料をどのように残していくか／資料のデジタル化と利活用／利活用における個人情報の扱い（歴史公文書の個人情報の扱い：たとえば満蒙開拓団のソ連軍侵入による死者の本人及び家族本籍情報とか）、歴史資料とオープンデータ／初めて参加して、どの発表もどの方も皆、口をそろえてアーカイブズの重要性を市民や議員が理解していない、してもらうために何とかしたいとおっしゃっていたので、専門家が何かできるということ、何がすでになされているかを共有していただける機会があればうれしい。／これからの日本のアーカイブズが進むべき方向性のようなもの？／震災や災害の対策について／公文書管理のスキルアップのノウハウ／現代史資料に関するテーマを要望させてください。／アーカイブとデモクラシーとか。記録保存と政治や人権の問題について、世界のすう勢をもあわせて、もっと討議を深められたらと思います。／現用文書管理からアーカイブズ管理までのトータル的なテーマをやってほしい。／アーカイブズをどのように社会に役立てるか。／現在作成されている文書の問題を早急に取り上げてほしい。／アーカイブズの市民化へ向けて

全史料協全国大会に望むこと

ホームページの積極展開。／活発な活動をしている機関を表彰する制度があるとよい。それより競争させる。個人の表彰はもう少し少人数でよい。／壇上の対論司会の場合、会員に対して、A先生、Bさんのように敬語が混在するのは違和感があります。「さん」(or「館」)に統一してほしいです。／このような目的をもつ協会が地味だが地道に活動していることをもっと多くの人に知ってほしい。／初日の初めに2会場バラバラ始まるのではなく、どなたかの号令・ごあいさつがあつて2日間はじまるぞ！という気持ちのスタートとなるキッカケが欲しいです、もちろん後手でのセレモニーはありますが。／沖縄において今日の現状として政府によって人権が侵害されていること、アーカイブズと人権の重要性の乖離を日々痛感しています。／有識者の話を聞くことが良い。／林、後藤報告のようなアーカイブズと少し離れた立場の人の報告が毎回あると望ましいです。／アーカイブズの設立支援は全史料協の初期からの大きな役目だと思うので、そのような観点からの大会企画を

継続的に進めて欲しい（市町村レベルでの設立が進んでいない現状をふまえ）／研修会の裏番組を設け、より専門的な題材を取り上げたらどうか。／本年も充実していました、着実にご努力の成果は蓄積されているように思います。参加女性の力を感じる大会でした。たのもしそうな女性の参加が目立ちました。／“リジェント”の方々のお話を聞く会／いろいろな施設の事例を多数聞きたい。／自治体・企業・学校・行政・国・市町村民などの繋がりが見えるアーカイブズの在り方など取り組んでいる所があれば見たい（知りたい）。一般人目線のアーカイブズの考えが分かるとう一方的ではないアーカイブズが作れるような気がする。／開催地は決まっているようなので、時宜に適う内容を選んでいただければと存じます。／新規に開設された公文書館の所在地でぜひ開催してほしい。／特にありません。大変お世話になりました。／人的交流と活性化／全史料協のレゾン・デートルを確認できるようなテーマ設定をしてほしい。／アーキビストの資格認定について、現状を知らせてほしいです。（国の動きがよくわかりません、国家資格？になるのでしょうか？）／今回の大会のように意欲的なものを望みます。久しぶりに気持ちよかったです。／今回のような地域の特性（歴史的）と結びついた視察やテーマ設定があると、自館とは異なっていたとしても、非常に示唆されるものがあると思う（人権など、根本的であればあるほど）。／記録保存の前衛として、社会に対する役割、社会からの期待が高まっていくことと思いますので、たゆまず発展していけるようにと思います。／総会の設定事項を大会の冊子に載せてほしい。

沖縄大会への参加理由

災害関連の報告があったため／ほぼ毎年出席している／個人としてもアーカイブズに関わる者として関心があるから／テーマと発表内容に興味と関心があったため／上司の命／アーキビストと人権保護について／沖縄公文書館の見学をしたかった／この所あまり参加出来なかったが久しぶり

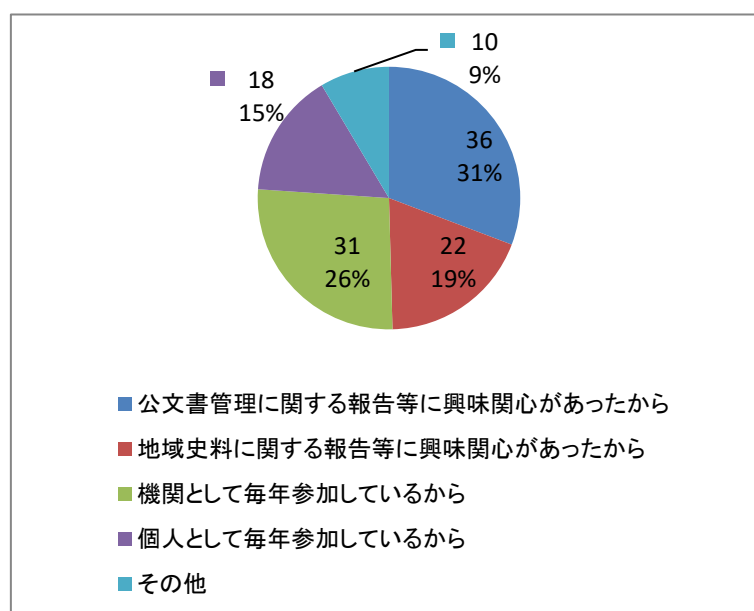


図 13 N=117

参加者の所属

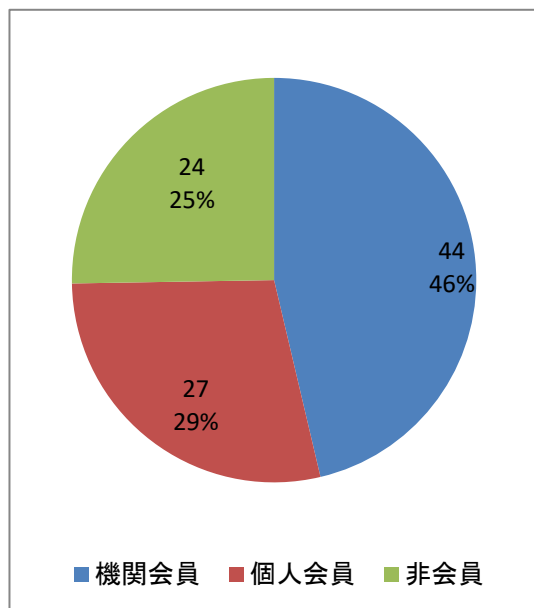


図 15 N=95

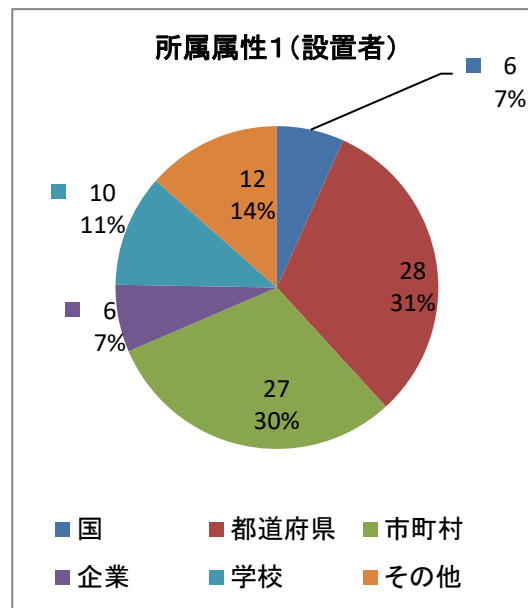


図 14 N=89

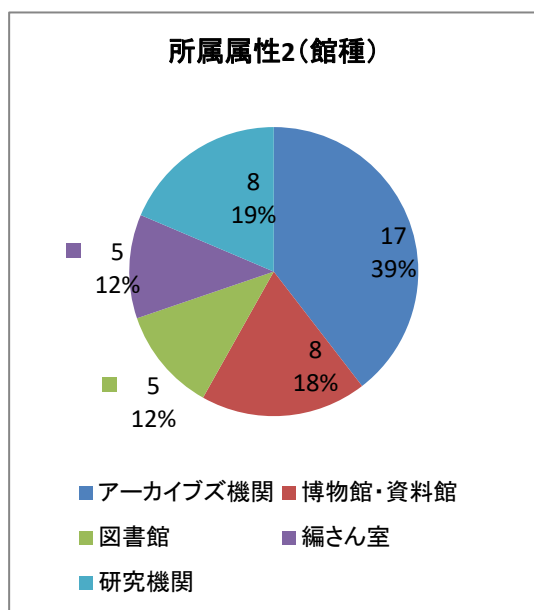


図 16 N=43

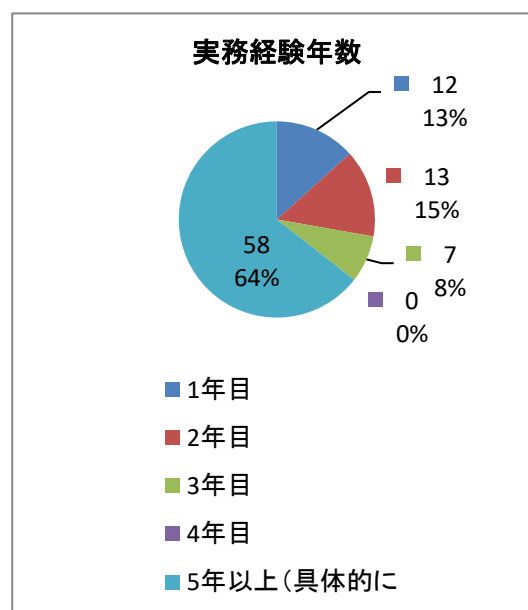


図 17 N=90

5年(7)/6年(3)/7年(1)/8年(1)/9年(1)
 /10年(4)/12年(2)/15年(3)/16年(2)/
 20年(4)/23年(2)/24年(1)/25年(2)/29
 年(2)/30年(3)/36年(1)/38年(1)/42年
 (1)

参加経験

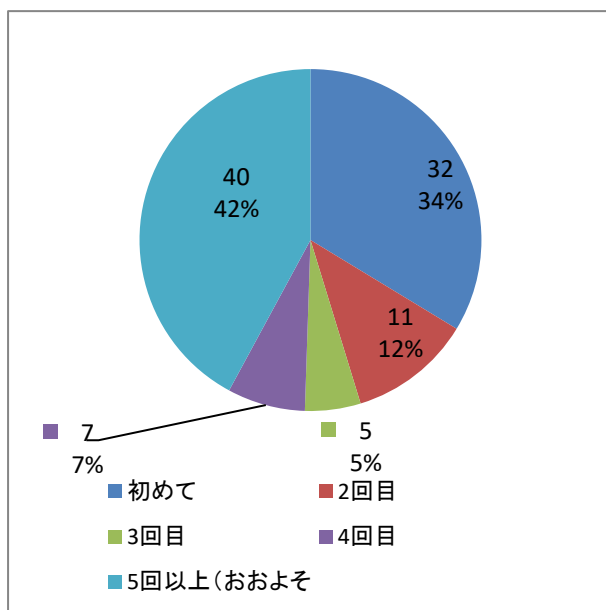


図 18 N=95

5回(1)／6回(1)／7回(1)／8回(1)／10回(4)／15回(1)／17回(1)／26回(1)

大会当日に提出のあった 101 通（参加者 230 名、回収率 44%）について、大会・研修委員会事務局が入力したもの。誤字・記入欄の誤りについては適宜修正した。